

Systemwalker Service Quality Coordinator V15.2.1 管理対象

○：対応
-：非対応

管理対象		概要	対応製品等	Windows	Solaris (注)	Linux (注)	エディション
サービスレベル 管理	OS	各プラットフォーム（Windows, Solaris, Linux）のOS/カーネルの性能を管理します。 インストール型またはインストールレス型のAgentで情報を収集します。 インストールレス型Agentでは、AIXおよびHP-UXのOS/カーネルの性能も管理できます。	各Agentの動作OS	動作環境で各OSの詳細の以下を参照してください。 ・Agent for Business ・Agent for Server ・インストールレス型Agent AIXおよびHP-UXの場合は以下のとおりです(インストールレス型Agentのみ)。 ・AIX 5L 5.2, 5L 5.3, 6.1, 7.1			
	仮想環境	仮想ホストのリソースの情報を管理します。	VMware (注8) (注12)	ESX 3.5, 4.0, 4.1 ESXi 4.1, 5.0, 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7 vCenter 5.0, 5.1, 5.5, 6.0, 6.5, 6.7 vCenter Server Appliance 6.5, 6.7			
			Hyper-V (注8)	Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019			
			Linux仮想マシン機能 (KVM) (注8)	Red Hat Enterprise Linux 6 (6.2以降) Red Hat Enterprise Linux 7			
			cgroup	Red Hat Enterprise Linux 6 Red Hat Enterprise Linux 7			
			Oracle VM Server for x86 (注8)	3.1 (3.1.1 build 399以降) , 3.2, 3.3			
			Oracle Solarisゾーン (注8) (注9)	Oracle Solaris 11			
			Oracle VM Server for SPARC (注8)	3.0, 3.1, 3.2, 3.3, 3.4, 3.5			
	クラウド	クラウド環境の情報を管理します。	OpenStack (注10)	Icehouse, Juno			
	サービス	各種サービス（HTTP/S, DNS, SMTP, 任意ポート）の稼働状態を管理します。	-		○		
	エンドユーザーレスポンス	エンドユーザーがWebサーバにアクセスした時に、実感した応答時間を管理します。 Browser Agentで情報を収集します。	-	動作環境でWindows 詳細の以下を参照してください。 ・Browser Agent			
	Webサーバ	Webシステムへのリクエスト数や、リクエストに対する応答時間といった、Webトランザクション量を管理します。	-	Apache Web Server, MS Internet Information Services, Netscape Enterprise Server, Interstage Application Server (WWWサーバ機能) や、W3C httpdなど、W3C Commonログ形式を扱うWeb Server			
	アプリケーション	処理時間、待ち時間、ヒープ量、	Interstage Application Server (注1) (注2) (注3) (注4)	V9.x V10.x V11.0 V11.1 V12.1	-	-	S-JE EE
Interstage Business Application Server (注5)			-	-	-		
Interstage Application Framework Suite			-	-	-		

アプリケーションサーバ	レスポンス内訳分析など、業務システムの性能を管理します。	Primesoft Server	-	-	-	
		Oracle WebLogic Server (注6) (注7)	11gR1(10.3.5) 12c(12.1.1)	-	-	SE EE WebLogic Suite
		Microsoft .NET Server	2012	-	-	
		SAP NetWeaver	7.0	-	-	
データベースサーバ	IO、メモリ、キャッシュ、スペース、デッドロック、SQL回数など、データベース性能を管理します。	Symfoware Server	V4.x V5.x V6.x V7.x V8.x V9.x V10.x V11.x V12.0 V12.1 V12.2 V12.3	-	-	SE EE EEE
		Symfoware Analytics Server	V12.0 V12.1	-	-	SE
		Oracle Database Server	9i 10g 11g 12c 18c	-	-	SE EE
		Microsoft SQL Server	2012 2014 2016 2017 2019	-	-	Standard Business Intelligence Enterprise
		Enterprise Postgres (注13)	10	-	-	Advanced Edition
		PostgreSQL	9.2 9.3 9.4 9.5 9.6	-	-	
サービスバス	Interstage Service Integratorで構築されたシステムの業務処理量や滞留数などを監視（しきい値監視）し、各業務の稼働状態を把握することができます。	Interstage Service Integrator	V9.0 V9.1 V9.2 V9.3 V9.4 V9.5	-	-	SE EE
ジョブ	多重度や実行待ち数など、ジョブ実行性能を管理します。下記のジョブ管理製品をサポートします。	Systemwalker Operation Manager	V11.x V12.x V13.x V16.0	-	-	SE EE
ネットワーク	トラフィック量、パケット数、エラー数など、ネットワーク性能を管理します。	Systemwalker Centric Manager (注14)	V10.x V11.x V12.x V13.x V15.0 V15.1 V15.2	-	-	SE EE
		Systemwalker Network Manager	-	-	-	

			Systemwalker Resource Coordinator	V13.x	-	-	
	ストレージ	IO、スループット、レスポンス、キャッシュなど、ストレージ性能を管理します。 注) 以下はサポート対象外です。 - Extreme Cache - VMware vSphere Virtual Volumes機能 - ETERNUS VS850以降のストレージ仮想化アプライアンス	ETERNUS SF Storage Cruiser (注11)	13.x 14.x 15.x 16.0 16.1 16.2 16.3 16.4 16.5 16.6	-	-	
	リソース管理	仮想化/クラウド環境において、ServerView Resource OrchestratorのテナントおよびL-Platformを構成するL-Serverの性能情報を、ServerView Resource Orchestratorのユーザーのロールに応じて管理することができます。	ServerView Resource Orchestrator	V 3.2 V 3.3	-	-	Cloud Edition
	エコ情報	一般的に利用されているSNMPのMIBインターフェースを使って電力や温度の情報を提供しているサーバ等について、電力情報、温度情報など、エコ情報を管理します。	-		○		
	ユーザーデータ	業務データやシステム稼働データなど、ユーザーの固有データ(CSV形式)を管理します。	-		○		
Web利用状況管理	利用状況分析	Webサイトの利用状況をさまざまな観点から分析することにより、顧客ニーズに見合った商品やサービスを提供することを支援します。	-		○		
	改ざん監視	Webコンテンツを定期的に検査し、改ざんを検出する機能を提供します。	-		○		

注) SolarisおよびLinuxについてはご利用になるAgentのバージョンレベルの管理対象一覧を参照してください。

注1) Interstage Application Serverのマルチシステム機能は未サポートです。

注2) Java EE環境の性能監視は、Interstage Application Serverの以下のバージョン・レベルでサポートします。

- Java EE 5の場合：Interstage Application Server V10.0以降

- Java EE 6の場合：Interstage Application Server V11.2以降

注3) Java EE 5環境におけるInterstage Application Serverのトランザクション内訳分析は、Interstage Application Server V11.0以降でサポートします。

Java EE 6環境におけるInterstage Application Serverのトランザクション内訳分析は、サポート対象外です。

注4) 64ビット版のWindowsまたはLinux上でのサポート範囲は以下のとおりです。

- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32ビット版の場合

32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するInterstage Application Serverをサポートします。

- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64ビット版の場合

64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するInterstage Application Serverをサポートします。

注5) オープンJavaフレームワークに関する性能情報は、Interstage Business Application Server V9.2以降 (Solaris版) にて、J2EE環境の場合のみ収集可能です。

注6) Oracle WebLogic Serverの動作するJavaVMとして、Windows版またはLinux版の場合はJRockit JVM、Solaris版の場合はHotSpot JVMを使用する場合のみサポートします。

注7) 64ビット版のWindowsまたはLinux上でのサポート範囲は以下のとおりです。

- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32ビット版の場合

32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するOracle WebLogic Serverをサポートします。

- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64ビット版の場合

64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するOracle WebLogic Serverをサポートします。

注8) VMware、Hyper-V、Linux仮想マシン機能 (KVM)、Oracle VM Server for x86、Solaris ゴースト、Oracle VM Server for SPARCで管理できる仮想ゲストの数は、物理サーバと合わせて1つのManagerで合計300台程度までです (Managerの物理ディスクを、サマリデータ、リソースデータ、およびアーカイブファイルで3つに分ける場合。導入手引書「PDB/アーカイブファイル格納先の変更」参照)。

注9) Solaris 11.2以降のカーネルゾーンについても管理できます。

注10) OpenStackを管理対象とする場合、Linux版の監視サーバにはlibidnパッケージが必要です。

監視サーバがRed Hat Enterprise Linux 7の場合は、Systemwalker Service Quality Coordinatorは64ビット版をインストールしてください。

注11) 以下はサポート対象外です。

- Extreme Cache

- VMware vSphere Virtual Volumes機能

- ETERNUS VS850以降のストレージ仮想化アプライアンス

注12) vSphereのバージョンが以下の環境の時、vpxd.stats.maxQueryMetricsの値が小さいと、性能情報が一部取得できない場合があります。詳細は、トラブルシューティングガイド「サーバ稼働状況で監視サーバの状態表示が「stopped」になる」を参照してください。

注13) Enterprise Postgres の使用方法はPostgreSQLと同じです。

Enterprise Postgresを管理対象とした場合の使用方法については、製品マニュアルのPostgreSQLの説明を参照してください。

注14) 64ビット版のWindows上でのサポート範囲は以下のとおりです。

- Systemwalker Service Quality Coordinatorが32bit版の場合
32ビット互換モードで32ビットアプリケーションとして動作するSystemwalker Centric Managerをサポートします。
- Systemwalker Service Quality Coordinatorが64bit版の場合
64ビットモードで64ビットアプリケーションとして動作するSystemwalker Centric Managerをサポートします。

備考) アーキテクチャーによってサポート範囲に差異がない場合は、アーキテクチャーを表記していません。